

平成27年度継続課題に係る継続評価書 (平成25年度以降採択課題向け)

研究機関 : パナソニックシステムネットワークス(株)、(株)パナソニックシステムネットワークス開発研究所、(株)NTTドコモ、(株)KDDI 総研
(平成26年度)

研究機関 : パナソニック(株)、(株)パナソニックシステムネットワークス開発研究所、(株)NTTドコモ、(株)KDDI 総研
(平成27年度以降)

研究開発課題 : ICTを活用した次世代ITSの確立 課題II 歩者間通信技術の開発
発

研究開発期間 : 平成26～28年度

代表研究責任者 : 青山 恭弘

■ 総合評価：適(適／条件付き適／不適の3段階評価)

(評価点 20点／25点中)

(総論)

研究開発に従いおおむね目標が達成されていると考えられる。個人情報の保護を重視する方針は、社会的な要請にこたえるものである。次年度以降については、課題ごとに、種々のシナリオに基づいた評価や目標値の設定が必要になってくるため、今後の検討に期待したい。

(コメント)

- 研究開発に従いおおむね目標が達成されていると考えられる。本年度は具体的な実験を行うための開発が中心であったが、次年度以降より実用化に向けた研究・開発が行われることを期待する。
- 歩車間通信の実現のためには要素技術だけではなくシステムとしての統合が重要であると考えられ、現実的に想定される種々のシナリオに基づいた評価が行われていくことを期待する。
- 課題Ⅰ「高度位置精度技術の開発」に関しては、本年度開発は直接精度向上につながる開発部分ではないので、今後どのような形で精度向上を行っていくのかを明確化した上でシステムとしての目標値を適切に定め進める必要があると考えられる。
- 個人情報の保護に関する社会的な関心が高まっている。プライバシー保護技術の開発にリソースを集中するという方針は適切である。
- 位置精度1mや事前通知3秒という設定値はそのことによって達成される安全性との関連で議論されるべきと思うので、今後の検討に期待したい。

(1) 当該年度における研究開発の目標達成(見込み)状況及びアウトカム
目標の達成に向けた取組みの実施状況

(5～1の5段階評価) : 評価4(評価点)

(総論)

採択時の指摘事項に対応して、専用端末と携帯電話との比較整理、GNSS 高精度測位技術における本課題の特徴の明確化、Bluetooth 接続が特殊な例とならないように配慮、などを反映して研究開発を進めており、目標が達成されていると考えられる。ただし、位置の検知精度1mを追及することの意味等、外部委員会からの意見を受けて検討した項目があるならそれは報告されたほうがよい。

(コメント)

- 研究開発計画に従って進められており、目標が達成されていると考えられる。
- 採択時の指摘事項に対応して、専用端末と携帯電話との比較整理、GNSS 高精度測位技術における本課題の特徴の明確化、Bluetooth 接続が特殊な例とならないように配慮、などを反映して研究開発を進めた。
- 位置の検知精度1mを追及することの意味等、外部委員会からの意見を受けて検討した項目があるならそれは報告されたほうがよい。

(2) 当該年度における研究資金使用状況

(5～1の5段階評価) : 評価4(評価点)

(総論)

平成26年度の契約期間が短いことに対処するため研究員を増員した。研究資金の執行において、必要な設備を確保しつつ、人件費を含む支出項目を適切に調整した。

(コメント)

- 平成 26 年度の契約期間が短いことに対処するため研究員を増員した。研究資金の執行において、必要な設備を確保しつつ、人件費を含む支出項目を適切に調整した。
- 研究資金はおおむね予定通り使用されている。研究資金における研究員および研究設備の確保状況について明確に示されており、適切な予算執行が されていると考えられる。
- 費用が適切に見積もられている。

(3) 研究開発実施計画及びアウトカム目標の達成に向けた取組み

(5～1の5段階評価) : 評価4(評価点)

(総論)

電動車椅子による高精度歩車間検知システムを、不特定多数の対象から典型的なケースに絞り込むほか、計画当初は想定していなかった国交省プログラムとの調整を行い、実験計画を前倒して実施する等、アウトカム目標の達成に向けて、平成27年度、平成28年度の研究開発項目を適切に調整している。

(コメント)

- 適切であると考えられる。
- アウトカム目標の達成に向けて、平成27年度、平成28年度の研究開発項目を適切に調整している。
- 電動車椅子による高精度歩車間検知システムを、不特定多数の対象から典型的なケースに絞り込んだ。
- 計画当初は想定していなかった国交省プログラムとの調整により、実験計画を前倒して実施する等、柔軟な対応が良い。

(4) 予算計画

(5～1の5段階評価) : 評価4(評価点)

(総論)

研究開発項目の修正に伴い、研究分担者の配置、予算計画を適切に修正しており、適切であると考えられる。

(コメント)

- 適切であると考えられる。
- 研究開発項目の修正に伴い、研究分担者の配置、予算計画を適切に修正している。
- 特に問題はない。

(5) 実施体制

(5～1の5段階評価) : 評価4(評価点)

(総論)

本課題の運営委員会、さらにSIP推進委員会から多数の有意義な指摘が行われており、適切であると考えられる。

(コメント)

- 適切であると考えられる。
- 本課題の運営委員会、さらにSIP推進委員会から多数の有意義な指摘が行われている。
- 特に問題はない。